



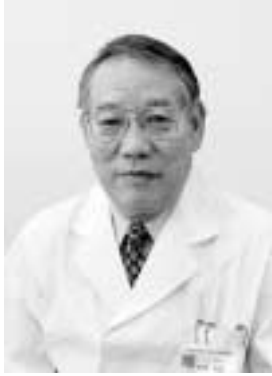
文化庁「九州・沖縄から文化力プロジェクト」参加事業

フィルハーモニックオーケストラ・長崎 第3回定期演奏会 “神童 vs 楽聖”



2008年5月17日(土)
とぎつカナリーホール

主催／フィルハーモニックオーケストラ・長崎
後援／長崎県 長崎市 時津町 時津町教育委員会 長崎新聞社
朝日新聞社 西日本新聞社 読売新聞西部本社 毎日新聞社
NHK長崎放送局 NBC長崎放送 KTNテレビ長崎
NCC長崎文化放送 NIB長崎国際テレビ エフエム長崎
長崎ケーブルメディア



ごあいさつ

第3回定期演奏会にあたって

後援会長 松本純隆

(医療法人厚生会理事長)

本日ここに、フィルハーモニックオーケストラ・長崎 第3回定期演奏会を開催できますことを、後援会を代表しまして皆様方に御礼申し上げます。

フィルハーモニックオーケストラ・長崎は、平成18年6月に「音楽の素晴らしさを聴衆・団員で分かちあおう」の合言葉のもと長崎市内一円、県内・県外各地の音楽家、会社員、公務員、学生、主婦など、プロ・アマを問わず音楽愛好家が集まり、スタートしました。早いもので今回が4回目の演奏会となり、デビューコンサートと同じ、とぎつカナリーホールを使わせていただきます。私も何度が足を運んでいますが、緑に囲まれた環境の中で、落ち着いた雰囲気のある会場であり、何より音響がすばらしく、いつも感動を味わっております。この感動をより多くの方々と共有することが、長崎の「文化」を育むことになるのではと私は常々考えております。「文化」とは長年にわたって快適さを追求する人間の考えや行動の積み重ねにより形成された生活全般のことだと思えます。そしてそれは過去のことだけでなく、これからの未来に通じるものだと思えます。この長崎に根差したオーケストラが、音楽によって長崎の人の心を励ましたり、癒したりして、精神的にも豊かになることがよりよい「文化」を育てていくと信じております。

私もこころを病んだ人々を助ける仕事をさせていただいており、病気の方々だけでなく、地域の方々のお役に立ちたいと考え、道ノ尾病院の中にホールを作っております。このホールをオケの練習にも使ってもらっていますが、今度6月1日にはミニコンサートも開く予定です。病院と地域がより近くなればと願っております。お時間があれば是非ともおいでください。

本日はお忙しい中、多くの方々においでいただいたことに改めて深く感謝をして挨拶とさせていただきます。

平成20年5月17日

精神科・神経科・心療内科・内科・歯科・皮膚科

道ノ尾病院

●心の健康相談●精神科デイケア

●精神科デイナーケア●精神科作業療法

理事長兼院長 松本 純隆

長崎市虹が丘町1-1

県立長崎工業高校うえ

☎095(856)1111

プログラム

Program

ヴォルフガング・アマデウス・モーツァルト
Wolfgang Amadeus Mozart

歌劇《後宮からの逃走》序曲 K. 384*
Ouverture: "Die Entführung aus dem Serail" KV 384

*楽譜協力 トヨタミュージックライブラリー

交響曲第40番ト短調 K. 550
Sinfonie Nr.40 in g-moll, KV 550

Molto allegro 第1楽章 モルト・アレグロ

Andante 第2楽章 アンダンテ

Menuetto: Allegretto 第3楽章 メヌエット アレグレット

Finale: Allegro assai 第4楽章 終曲 アレグロ・アッサイ

～ ～ ～ 休憩 ～ ～ ～
Intermission

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン
Ludwig van Beethoven

交響曲第3番変ホ長調作品55《英雄》
Sinfonie Nr. 3 in Es-dur, Op. 55 "Eroica"

Allegro con brio 第1楽章 アレグロ・コン・ブリオ

Marcia funebre: Adagio assai 第2楽章 葬送行進曲 アダージョ・アッサイ

Scherzo: Allegro vivace 第3楽章 スケルツォ アレグロ・ヴィヴァーチェ

Finale: Allegro molto 第4楽章 終曲 アレグロ・モルト

プロフィール



指揮 小山 大作

長崎市出身。桐朋学園大学でファゴットを中川良平（サンフランシスコ響）に、室内楽・オーケストラスタディを中川良平、カール・ライスター（ベルリン・フィル）両氏に師事。また、シャーマン・ウォルト（ボストン響）、レオナルド・シャロー（NBC 響）両氏のレッスンを受ける。指揮を高階正光氏に師事。

1985年西日本新人演奏会出演、86年マーフィー木管五重奏団メンバー、88年長崎県新人演奏会に出演。89年からは小澤征爾率いるサイトウキネン・オーケストラのメンバーとして、世界各地での演奏旅行に参加。絶賛を浴びる。91年、國學院大学管弦楽団定期演奏会にて、渡邊一正の指揮でウェーバーのファゴット協奏曲へ長調を共演。94年「バンド・ピープル」誌に「ファゴット レッスン」を1年間連載。96年にはソロ・リサイタルを開く。97年、中川良平指揮「東京パッサンバンド」でバリトンサクソ奏者としてもデビュー、97・99年のライブCDは〈パイパーズ〉から発売されている。05年3月、長崎出島音楽祭で吹奏楽指導者のディプロマを修得。一方、94-96年、若木ヶ丘フィルハーモニー定期演奏会にてブラームス交響曲第4番、チャイコフスキー交響曲第6番「悲愴」、ショスタコーヴィチ交響曲第5番「革命」などを指揮、02-03年には、立正大学管弦楽団定期演奏会にて、メンデルスゾーン交響曲第3番、チャイコフスキー交響曲第4番を指揮するなど、指揮者としての活動も本格化した。

2006年6月、フィルハーモニックオーケストラ・長崎の設立に関わり、同年11月、同オーケストラのデビューコンサートにて、ブラームス交響曲第1番ハ短調などを指揮し、万雷の拍手を浴びた。07年11月には同オーケストラの第1回定期演奏会にて、ドヴォルザーク交響曲第9番ホ短調「新世界より」ほかを指揮し、その斬新な解釈は好評を博した。現在、フィルハーモニックオーケストラ・長崎団長、OMURA 室内合奏団ファゴット奏者、長崎大学管弦楽団トレーナー、長崎市立淵中学校吹奏楽部コーチとして、演奏の傍ら後進の指導に当たっている。



ゲスト・コンサートマスター 中原 大幾

鹿児島市出身。長崎大学教育学部音楽科卒業。同大学院修了。長崎大学大学院在学中に文部科学省海外派遣短期留学生として、韓国慶北大学校芸術大学音楽学科へ交換留学。その後、同大学大学院へ進学し、音楽学修士課程修了。

ヴァイオリン、室内楽を岩下ゆり子、川瀬洋、堀内伊吹、山下典道、Yoon, Soo-young の各氏に師事。またこれまでに、松原勝也、Roland Baldini の各氏の指導も受ける。アクロス福岡主催ヴァイオリン長期セミナーにて景山誠二氏の指導を受けたほか、長崎出島音楽祭にて今井信子、田崎悦子の各氏の公開レッスンに出演、アルカス SASEBO 主催のヴァイオリンセミナーにて豊島泰嗣、松野弘明の各氏の指導も受ける。

現在は、日本フィルハーモニー交響楽団ソロコンサートマスターの木野雅之氏に師事し研鑽を積んでいる。

2000、2002年に韓国大邱市にて、2003年には鹿児島市、長崎市にてリサイタルを開催。第44回南日本音楽コンクール優秀賞受賞。第36、37、38回同コンクール入選。OMURA 室内合奏団団員、KANONE 弦楽四重奏団、Piano Trio 「Armand」のメンバー。

プロフィール

管弦楽 フィルハーモニックオーケストラ・長崎



(第2回定期演奏会 指揮／武藤英明)

「音楽の素晴らしさを聴衆・団員で分かちあおう」を合い言葉に、学生、主婦、公務員、教師、会社員など 12 人の音楽愛好家が集い、アンサンブルの重視、既成概念にとらわれない演奏会スタイルと選曲、音楽を通しての平和のメッセージ発信を楽団の 3 本柱として、2006 年 6 月フィルハーモニックオーケストラ・長崎は、長崎で第 2 番目の市民オケとして産声をあげました。楽団創設の中心となったファゴット奏者小山大作は、桐朋学園大学に学び、小澤征爾率いるサイトウキネン・オーケストラで数々のステージに出演した経験を持ち、既成のオーケストラとは一味違うサウンドを創ろうと、団長兼トレーナーとしてこのオーケストラの指導にあっています。

楽団員は、長崎市内はもとより、時津・長与・諫早・島原・大村・佐世保・五島など県内各地・さらに佐賀・福岡から集まり、毎月 3、4 回の練習を重ねています。団員数がまだ少ないこと、遠隔地の団員が多く練習効率が悪いことなど悩みもありますが、経験ある指導者の直接の指導という中味の濃い練習ができることが強みです。

06 年 11 月、とぎつカナリーホールにてデビューコンサート(ブラームス交響曲第 1 番ハ短調など)を開催し、斬新な選曲、演奏スタイルで長崎の楽壇にセンセーショナルなデビューを果たしました。07 年 5 月には、同ホールにて第 1 回定期演奏会(ドヴォルザーク交響曲第 9 番「新世界より」ほか)を開催し、オーケストラとしての定期的な活動を開始しました。

楽団のさらなる音楽的向上を期して、音楽監督にチェコ・ブラハ管弦楽団常任指揮者の武藤英明氏を迎え、07 年 9 月から指導していただいています。本年 1 月の第 2 回定期演奏会では、武藤氏の指揮により、ストラヴィンスキーの「火の鳥」組曲(1919 年版)、ショスタコーヴィチの交響曲第 5 番(革命)と 20 世紀の難曲に挑戦いたしました。

今回は、ぐっとオーソドックスに、古典派の 2 大巨匠、モーツァルトとベートーヴェンの名曲をお届けいたします。また、定期演奏会では取り上げられないことのない小品や室内楽作品の小演奏会を、6 月 1 日に PON みちのおホールミニコンサート“見に来ん?” 第 1 回として開きます。本日の演目とはまた違った味わいのモーツァルトやベートーヴェンをお楽しみください。これからも、知られざる名曲や演奏機会の少ない難曲、他のジャンルの音楽家とのコラボレーションなど、これまでクラシックにはあまり馴染みのなかった方にも、クラシック通の方にも、楽しんでもらえるような、まさに「変幻自在、なんでもあり」のオケとして活躍したいと思います。今後とも末永く皆様の暖かいご声援を賜りますようお願い申し上げます。

本日の出演者

指揮

小山 大作

1st ヴァイオリン

池田 一喜
大岡 まみ
河本 香織
高田 拳
◎中原 大幾
橋本 憩太
藤木 修爾
淵上 康一郎
横田 雅憲

2nd ヴァイオリン

斎藤 亨
◎鈴木 美沙子
鶴田 明子
野口 明子
野澤 佳穂子
濱崎 京
森 優樹
山口 美知子
横田 あかり

ヴィオラ

大津 元起
岡本 昭

住吉 明子
◎辻 奈佑
寺田 篤史
長嶋 拓生

チェロ

大井 久美子
川崎 千之
◎高田 浩一
田川 博之
直塚 真理子
福井 翔一
三村 敏夫

コントラバス

瀬尾 照明
馬場 昭彦
福田 一毅
藤井 良子

フルート

大峰 史子
◎福田 久美子

オーボエ

◎大塚 英樹
春田 紗也加

クラリネット

◎福田 憲弘
垣内 青那

ファゴット

池田 祐希
埜口 浩之

ホルン

佐藤 雅秋
◎竹内 直樹
田中 賢治
花村 純一
吉岡 浩太

トランペット

柴橋 茂政
◎堤 智之

ティンパニ

◎福田 祥一

パーカッション

荒下 勇太
猪狩 佳子
柴田 昌知

◎ コンサートマスター
○ 首席奏者

(変更になることがあります)



小田循環器内科

ODA CIRCULATORY CLINIC

院長 小田 修爾

長崎市万屋町5番38号 西川家ビル3F
(吉原ななめ前)

TEL・FAX 095(822)8010

救急病院

医療法人 厚生会

虹が丘病院

長崎市虹が丘町1番1号(道ノ尾病院となり)

☎(095)856-1112

循環器科 内科 消化器科 呼吸器科 神経内科
皮膚科 放射線科 心臓血管外科 外科 肛門科
整形外科 リハビリテーション科(理学療法・作業療法)
リウマチ科

ハウス オブ ドッグス
House of Dogs

仔犬販売・トリミング・ペットホテル

TEL: 095-818-7172

長崎市桜馬場1-2-1相田ビル1F

本質主義
TEL 095-824-9792

美容室
エックス



完全予約制

営業時間 AM10:00~PM9:00

定休日 毎週月曜日・第3日曜日

TEL 095-824-9792 ☎ 0120-249792

おおみや小児科

院長 大宮 朗

長崎市上野町2-1 TEL (095) 847-6555

カトリックセンター前バス停・信愛幼稚園向い側

ゆううつ・不安・ストレス・物忘れなどの心の健康相談

心療内科・神経科・精神科

すがさきクリニック

院長 菅崎弘之

TEL 095・820・1162 (予約制)

西浜町電停前銅座郵便局4F

■月・木・金 9:00~18:00

火・水 9:00~20:00

土 9:00~13:00

■休診日 第2・4土曜日、日祝日



医療法人 良幸会

ツダ眼科

●思案橋ツダ眼科 長崎市油屋町1-12 (思案橋バス停前)
☎823-9201

●南長崎ツダ眼科 長崎市柳田町1-10 (鶴見台入口)
☎832-5011



建築設計・施工

有限会社 本田工務店

長崎市城山台1丁目34番2号

〒852-8027 TEL095(862)9111

FAX095(862)9101

今回のテーマは「神童 vs 楽聖」 対戦するわけでもないのに「VS」はおかしいんじゃないのという議論もありますが、ちょっと気になるこのキャッチフレーズ、皆様はどうお受け取りになられたでしょうか？ 神童モーツァルト、楽聖ベートーヴェン。この偉大な二人の音楽家について、日本だけでなくヨーロッパでもそのような言い方を（悪く言えば、レッテルの貼り方を）するようです。しかし……モーツァルトの音楽は天使の旋律で、ベートーヴェンのそれは苦悩を克服して歓喜に至る精神の表れ……確かにそう言われればそう思えるんですが、私たちは初めからそういう先入観で聴いてしまっ、あるいは演奏してしまっているのではないのでしょうか。モーツァルトも深刻な音楽を書きます。ベートーヴェンの音楽にだってたくさんジョークが散りばめられています。そろそろ、後世の人たちが付け加えたのであろうステレオタイプな見方を捨ててみてもいいのかもしれないね？ そこで今日は、お二人の生の声をお聞きすことにしました。えっ!?

歌劇《後宮からの逃走》序曲 K. 384

W・A・モーツァルト(1756-1791)

Ouverture: "Die Entführung aus dem Serail" KV 384

Wolfgang Amadeus Mozart

—— どういう歌劇なんですか？

M：簡単に言うと、トルコの太守にさらわれていた娘を、その恋人が奪い返し、ハイ、めでたし、めでたし。

—— あ、少しまじめに説明してもらえます？ それに、逃走とか誘拐とか、なんか物騒な題名だし…

M：逃走とか誘拐って、それは日本の人が勝手に訳したんでしょ、僕は知らないよ。ほんとの題名はね、*Belmonte und Constanze, oder, Die Entführung aus dem Serail* って言って、王侯貴族にも一般大衆にもどちらにも受けるように題名は二つつけてある。「ベルモンテとコンスタンツェ、または、後宮からの…*Entführung*。」ハ・ハ・ハ。説明になってないか。インターネットで↓これ見てみたらいいよ。

<http://www.asahi-net.or.jp/~rb5h-ngc/j/k384.htm> (野口秀夫)

ちょうどこの曲を書いているときはね、コンスタンツェに恋しててね。あ、妻のほうね。オペラの主人公も同じ名前なもんだから、もう、のりに乗っちゃってさ、さーらさらーと書いちゃった。

—— お幸せなようです。プライベートな話で恐縮ですが、お父様はこの結婚に大反対だったのでは？

M：ザルツブルグの大司教と喧嘩してクビになったんでウィーンに出て来たんだけどさ、コンスタンツェがいるから何にも苦じゃない、ま、姉さんには振られたけれど。僕を音楽家に育ててくれた父には感謝しているよ。だけど、僕はいつまでも子どもじゃないんだから自分のことは自分で決める。もう26歳なんだ。仕事だって、ウィーンならフリーでやっていけるさ。このオペラだって皇帝ヨーゼフ2世からドイツ語で書くように依頼されてたんだ。ほら大成功だったろ。

—— どうして「トルコ」が舞台なんですか？

M：「何で〇〇〇ハウスなんだ？」って？ そりゃあ、流行りだからね。オスマントルコがやって来て脅かされたけれど、あのエキゾチックな軍楽隊、魅力的じゃん。シンバル、ジャンジャンジャン。バスドラム、ドンドンドン…。だから、この序曲にも入れたんだよ。はい、ジャンジャンジャン。聴いててワクワクしてこない？ これからどんなオペラが始まるんだろうって。やっぱり音楽はエンタメじゃなきゃあね。

交響曲第40番ト短調 K. 550

W・A・モーツァルト(1756-1791)

Sinfonie Nr.40 in g-moll, KV 550

Wolfgang Amadeus Mozart

—— 短調の交響曲は2つしか書かれていませんが、この曲はそのうちの一つですよ。

M：そう、しかもどっちもト短調。なぜ？って、たまたまね。堅くて冷たい感じがする調でしょ、トタン調なんつって。映画「アマデウス」見てくれた？ 僕が主人公の映画。あの冒頭で鳴っているのがもう一つのほうのト短調交響曲。あれ書いたときは、17だったかな。青春の真っ只中～。みんな悩んで大きくなった～。

—— ふだんよく耳にする長調の曲にはない、人間くささみみたいなものを感じるんですが…

M：小さい頃は「神童」と、もてはやされたけれど、僕だって人間だからね。そうだな、交響曲39番、40番、41番を書いた頃は……前の年に「フィガロの結婚」がブラハで大当たり。次いで「ドン・ジョバンニ」も大成功。でも、その間に父は亡くなるし、いろいろと借金も増え続けたりしてて、いいこと悪いことがごちゃ混ぜのときだったなあ。でも、父が亡くなったことで吹っ切れたとこもあってね。宮廷や聴衆の受けとかを気にするんじゃなくて、自分の描きたいものが書けたように思う。あの3曲は、たった6週間で書き上げたんだよ。自分でもびっくりだ。それだけ描きたいものが詰まっていたということかな。

—— 晩年の傑作はそういうことで生み出されたんですねえ。

M：晩年!? 冗談じゃないよ、僕はまだ32歳だったんだぜ。まさか35で死んでしまうなんて夢にも思ってもいなかったんだ。晩年はないだろ！ 脂が乗ってこれからますますっていうときじゃん。この40番なんか、すごい前衛的作品なんだから。あんた、わかってないでしょ。少しは、勉強してきてよ↓

<http://d.hatena.ne.jp/tsiraisi/20070308/p1> (白石知雄)

—— すいません。たいへん失礼しました。最後に、ベートーヴェンさんのことを？

M：ルートヴィヒ君とはね、確か、私の父の亡くなる少し前に会った。あの頃は「第2のモーツァルト」を売り込んでくる父子が多くてね。正直うんざりしていたんだ。ルートヴィヒ君の演奏は、まあそこそこだったんだけど、試しに即興演奏をさせたら、これが凄い。演奏家としてはどうだかわからんが、作曲家として成功するんじゃないかと思って、先輩のハイドンに話したよ。よくカルテットをご一緒させていただいていたからね。確かに凄い作曲家になっただろ、僕の耳は確かさ。

—— どうも今日はありがとうございました。また、今日はつたない演奏ですが、どうかお許しください。

M：音楽は、楽しくなきゃあね。まずは自分達が愉しんで、そしてお客様にも愉しんでもらいなさい。

交響曲第3番変ホ長調作品55《英雄》

ルートヴィヒ・ヴァン・ベートーヴェン

(1770-1827)

Sinfonie Nr. 3 in Es-dur, Op. 55 "Eroica"

Ludwig van Beethoven

—— お待たせしました。紙面も残りが少なくなってしまって…

B：仕方ないでしょう、モーツァルトさん、おしゃべりだし、話し出したら止まらないし。

—— モーツァルトさんと会われたというのは本当ですか？

B：ええ、弟子入りさせてもらおうと思ってウィーンの彼を訪ねました。結局それが決まらないうちに、母が亡くなり、私はアルコール依存症の父に代わって2人の弟の世話をしなければならず、ボンに引き揚げたのです。返す返すも残念です。私がウィーンに戻る1年前にモーツァルトさんは他界されてしまいました。

—— この交響曲はナポレオンを念頭において作曲されたとお聞きしていますが？

B：ええ、そうです。私は、かねてからナポレオンの考え方に共感するところがあったのです。ですが、この曲が完成した後に、彼自身が皇帝を名乗ったと聞いてガッカリしてしまいました。それで、彼へ献呈するのをやめて、「ボナパルト」を消して「シンフォニア・エロイカ（英雄的な交響曲の意味）—ある英雄の思い出のために」と書き直したのです。

—— この「英雄」交響曲は音楽史上記念碑的作品といわれるそうですが…

B：そう言われると恐縮してしまいます。そういうことを狙って書いたわけではありませんから。ただ、長さも、構成も、和声も、それまでの交響曲とは桁違いの革新的な作品になりました。実は、これを書く前、私は26歳頃から耳が聞こえなくなり始めていたんです。演奏家としてもうおしまいだと悩み続け、31歳のときには自殺を考えていました。

—— 有名な「ハイリゲンシュタットの遺書」を書かれたころですね？ 「僕はほとんど絶望し、もう少しのところまで自殺するところだった。ただ、彼女が—芸術が—僕を引き止めてくれた。僕には自分に課せられていると感じられる創造を、全てやり遂げずにこの世を去る事は出来ないと考えた。」

B：正確には遺書ではないんです。思いとどまることができた、私は作曲をすることで自分の苦悩と向き合い、再び生きる力を得ることができた…という宣言みたいなものです。自殺を思いとどまる強い精神力があったから傑作が書けたのではなくて、その逆なんです。世の人は誤解しているが、私はそれほど強い人間ではない。曲を書くことで、自己表現することで、何とか精神的危機から救われたのです。

—— 弱さを持つ人間だからこそ描ける音楽、ということでしょうか？

B：その通りです。だから、誰にでもある共通するところで感じ取ってもらえるんじゃないでしょうか。

—— どうも今日はありがとうございました。

インタビュアー ポン太。 このインタビューは架空のものです

定期会員・後援会員募集

■ 定期会員「PON友会」

☆入会後2回の定期演奏会の無料入場 ☆ご同伴者1名様のお得入場(半額) ☆演奏会終了後の指揮者・ソリストを交えてのレセプションへご優待 ☆定期演奏会ほか演奏会のお知らせなどの特典があります(会費2,000円)。詳しくは、当団事務局へお問合せください。本日、お申し込み承っております。

■ 後援会「PON倶楽部」

当団を物心両面からサポートして下さる後援会員(個人・団体/企業)を募集中です。

◇**個人会員**(一〇万円)：チケット2枚無料進呈

◇**特別法人会員**(一〇万円) ◇**法人会員**(一〇万円)：回数に応じた特典があります。

全後援会員に、一〇名様の優先座席を確保、指揮者リハーサル・演奏会終演後のレセプションへの参加、演奏会プログラムや当団ホームページへの会員名の掲載、音楽情報の提供などの特典があります。

後援会「PON倶楽部」会員 (敬称略・順不同、H20.4.30現在)

■ **会 長** 松本純隆 (医療法人厚生会理事長)

■ **特別法人** (株)文明堂総本店 (医)厚生会道ノ尾病院 (医)清潮会三和中央病院 (宗)妙行寺

■ **法 人** (株)メモリード (株)ダンクユ (医)ツダ眼科 (医)祥仁会西諫早病院 (株)酒の吉田屋

(医)共生会長崎友愛病院 (医)宝マタニティクリニック (医)仁和会下村産婦人科病院

(医)春秋会南長崎クリニック (有)チューケングループ長崎医学中央検査室

(医)常岡歯科診療所 (医)藤田クリニック (医)ART 岡本ウーマンズクリニック

■ **個 人** 大久保喜久子 大堀富子 川口 勉 許斐義彦 坂上優子 田川安浩 道津剛佑

中川元治 林 邦昭 星野恵利 前川映一 松本 勝 道辻俊一郎 三村真左美

山田笙子 吉武廣司 ほか12名

謝 辞

公演にあたりご協力をいただいた、後援をはじめ、次の個人・団体・企業の方々に篤くお礼申し上げます。

【後援】長崎県、長崎市、時津町、時津町教育委員会、長崎新聞社、朝日新聞社、西日本新聞社、読売新聞西部本社、毎日新聞社、NHK長崎放送局、NBC長崎放送、KTNテレビ長崎、NCC長崎文化放送、NIB長崎国際テレビ、エフエム長崎、長崎ケーブルメディア【広告】JA長崎せいひ、(株)メモリード、三浦産婦人科、すがさきクリニック、ツダ眼科、道ノ尾病院、虹が丘病院、おおみや小児科、小田循環器内科、みちクリニック、三和中央病院、本田工務店、こいで小児科、美容室エックス、House of Dogs、サザンクリニック【チケットिंग】ハマヤプレイガイド、S東美チケットぴあ、絃洋会楽器店、くさの書店西友店、明光堂ミュージック時津店、カフェ・キララ、長崎大学生協同組合、長崎県職員生活協同組合【ポスター・チラシ】長崎市都市景観課、時津町、長与町、KAMIKIRIYA since 1988、酒味心・櫻街通り、レストランかじ、クリーニングTOMO、吉見耳鼻咽喉科、吉見皮ふ科、諸熊内科、江良医院、古書店夢屋、マルタマ住吉店、岩本歯科医院、古書太郎舎、フラワーメイト、レディースファッション マツヤ、海鮮魚市満寿美、中華料理天城、アイドル長崎住吉店、台湾亭、小江原中央病院、ホンダ楽器、カワイ音楽教室長崎センター、酒のこやま、フジオカ大波止SS、小久保学習教室、FAN美容室、福川タクシー、峰タクシー、長崎ブリックホール、長崎市公会堂、長崎市民会館、旧香港上海銀行長崎支店、長崎県職員組合長崎支部、諫早文化会館、諫早市民ホール、諫早図書館、諫早西図書館、森山図書館、たらみ図書館、西諫早公民館、みのり会館、多良見のぞみ会館、長崎ウエスレヤン大学、鎮西学院高校、長崎日大高校、アエル諫早、原田楽器、たらみエンゼルレディースクリニック、ソニーセミコンダクタ九州若葉寮、大村市図書館、シーハットおおむら、大村市中央公民館、ほか多数【デザイン・印刷】SOCIO事務所片山禎久、昭英印刷【花束】花屋 Loft【ステージ等】酒井健吉、とぎつカナリーホール【楽譜・楽器等】ナガサキウィンドオーケストラ、長崎大学管弦楽団、トヨタミュージックライブラリー【広報ほか】九州・沖縄から文化プロジェクト(文化庁)、長崎文化ジャンクション(長崎県文化振興課)、NBCテレビ「あっ!ぶる」、報道機関各社、月刊こだま(長崎県音記の会)、Freude、コンサートスクエア、吉永沙和香(敬称略・順不同)

お名前の漏れもあろうかと存じますが何卒ご容赦ください。このほかにも多くの方々からご支援、ご協力をいただきました。ありがとうございました。

心療内科・精神科

みちクリニック

☎ 095-818-2300

FAX 095-818-2788

〈電話予約制〉

市役所前バス停すぐ

桜町ビル4階

診療時間	月	火	水	木	金	土
9:00~13:00	●	●	●	●	●	●
14:30~18:00	●	●	—	●	●	—



SOUTHERN CLINIC

サザンクリニック 心療内科

西彼杵郡時津町久留里郷新開1446

☎ 長崎 (095) 881-7339

診療時間

月火水金 午前 9:00~12:00

午後 2:00~ 6:00

木・土 午前 9:00~12:00



KOIDE PEDIATRICS CLINIC

小児内科一般 健診・予防接種

こいで小児科

診療時間	月	火	水	木	金	土
午前9:00~12:00	○	○	○	○	○	12:30 まで
午後2:00~ 6:00	○	○	☆	○	☆	—

☆水・金曜日の午後2時~3時半までは、予防接種・健診のみの時間帯となっております。



西時津郷75-10(ジャスコ近く) TEL 881-7111



母体保護法指定医
産科 婦人科 小児科 内科

三浦産婦人科

院長 三浦 清樹 副院長 梶村 秀雄
医長 山口 敦巳 医師 三浦 佳由子

診療時間

- 月・火・水・金 9:00~12:30 14:00~18:00
- 木曜日 9:00~12:30 午後休診
- 土曜日 9:00~12:30 14:00~15:00
- 日曜・祭日 / 休診

診療内容

- 妊娠指導
- 妊娠・乳幼児健診
- ガン検診(子宮・乳)
- 母親・高親学級
- 更年期健康相談

●お気軽にご相談下さいませ

TEL 095-882-7000(代)

長崎県西彼杵郡時津町野田郷25-1(長崎バス野田バス停前)



入院設備有り
駐車場完備



長崎ロイヤルテアターホール

おかげさまで、メモリードグループは、
来年、創業40年を迎えます。

～大切な人に伝えたい、「ありがとう」の気持ち～

地元の皆様方に支えられて全国に展開してきたメモリードグループ。
婚礼事業および葬祭事業を中心に、安心・充実のセレモニーを執り行っています。
これからも、幅広い角度から豊かな暮らしを見つめ、お客様に信頼をお届けします。



株式会社メモリード

ホームページ <http://www.memolead.co.jp>



メモリードグループ総合本部	長崎県西彼杵郡長与町高田郷 1785-10	tel 095-857-1777
メモリードグループ東京本部	東京都世田谷区砧 2-4-27	tel 03-3416-7776
(長崎・佐賀・宮崎・福岡・東京・群馬・埼玉地区にて132店舗)		



三和中央病院

精神科 神経科 内科 歯科

長崎市布巻町165-1

TEL 095-898-7511 FAX 095-898-7588

- ・心の健康相談
- ・思春期・青年期に関する相談
- ・老年期に関する相談
- ・アルコールに関する相談

ミニコンサートのお知らせ

神童 vs 楽聖 今度は、室内楽で第2ラウンド！



PONみちのおホール ミニコンサート“見に来ん？”第1回

6月1日(日) 15:00 みちのおホール

長崎市虹が丘町1-1 道ノ尾病院本館内 (Pあり)

入場料 300円 会場にて発売

フィルハーモニックオーケストラ・長崎の団員による、モーツァルトや
ベートーヴェンの小品、室内楽作品を中心にしたミニコンサートです

【予定曲】 J.S.バッハ：G線上のアリア モーツァルト：ディベルティメント 二長調 K.136、ピアノ・オーボエ・クラ
リネット・ホルン・ファゴットのための5重奏曲変ホ長調 K.452、チェロとファゴットのためのソナタ変ロ長調 K.292、ベ
ートーヴェン：ピアノ・オーボエ・クラリネット・ホルン・ファゴットのための5重奏曲変ホ長調 Op.16、ヴァイオリン・ソ
ナタ第5番ヘ長調「春」、ロマンス へ長調 ほか

フィルハーモニックオーケストラ・長崎

お問合せ 電話 090-8769-0594 E-mail info_philnag@yahoo.co.jp

仮事務所 〒851-0494長崎市布巻町165-1 三和中央病院医局気付

Fax 095-898-7588

HP <http://PONagasaki.com> 携帯用HP <http://PONagasaki.com/k>